

オーストラリアを代表する ふたりの音楽家が誘う

“圧巻”ーライムライト・マガジン

マルチメディア・コンサート
陸の果て、命のほとり
Life on Land's Edge

the bowerbird collective

ザ・バウアーバード・コレクティブ

シモーヌ・スラッテリー (ヴァイオリン)

アンソニー・アルブレヒト (チェロ)

深い感動を呼ぶマルチメディア・コンサート

フィリップ・グラス、藤倉大、アン・コース、
コリーナ・ボンシェックらの音楽で綴る、自然と音楽が重なるひととき

2026年 全国ツアー日程：

10月26日 (月) 浜離宮朝日ホール 小ホール

10月28日 (水) 電気文化会館 ザ・コンサートホール

10月29日 (木) 京都府民ホール ALTI

11月2日 (月) 金沢市アートホール

主催：ザ・バウアーバード・コレクティブ

協力、お問合せ：オフィス山根 - contact@officeyamane.net

公演詳細と
チケットは
こちら



演奏曲目

- S.スラッテリー：《見えないつながり》*
P.グラス：《オープニング》
A.コース：《聖域》*
C.ウィリアムズ：《鳥たちの飛翔（コデックスより）》*
C.ボンシェク：《ハウロクシギの嘆き》*
C.ボンシェク：《海と空のあいだ》（抜粋）*
A.コース：《キョウジョシギ》（抜粋）*
藤倉大：《スター・コンパス》
G.イルム：《風の鳥たち》*
A.ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲 変ロ長調
《キアレタのために》RV 372a より 第2楽章〈アンダンテ〉
S.スラッテリー：《オオソリハシシギとハウロクシギ》*

* バードライフ・オーストラリアおよび
バウアーバード・コレクティブによる委嘱新作

「……まさに芸術作品。
魅了されずにはいられない
サウンドスケープ」 「繊細で美しい融合」

『サウンド・ライク・シドニー』

『バードライフ』誌

Life on Land's Edge

『陸の果て、命のほとり』
これは音楽がアート、科学、
時空を超え融合する、映画の
ように壮大な体験だ。圧巻の
映像美そして圧倒的なサウン
ドスケープが描く自然の舞
台。オーストラリアを代表す
る、数々の受賞歴を誇る音楽
家2名が極上のアンサンブルを
響かせる。地球上で最も壮大
な生命の物語に身も心も浸
る、きわめて贅沢な時間を皆
様にお届けする。

本公演は東アジア・オースト
ラリア地域フライウェイパー
トナーシップ（EAAFP）の創
立20周年を記念し、オフィス
山根、EAAFP、およびバード
ライフ・インターナショナル
の協力のもと開催される。

the bowerbird collective

ザ・バウアーバード・コレクティブ

ザ・バウアーバード・コレクティブは、自然のための芸術活動を
展開する、数々の賞を受賞したオーストラリアの音楽ユニット。

シモーヌ・スラッテリー（ヴァイオリン／ヴォーカル）

オーストラリアを代表するヴァイオリニスト、作曲家、クリエイ
ター。エルダー音楽院で博士号を取得し、チャーチル・フェロー
およびイアン・ポッター・フェローにも選出されている。ソリス
トおよび室内楽奏者として国内外で幅広く活動し、シドニー・オ
ペラハウス、ウィグモア・ホール、BBCプロムス、イエロー・バ
ーン・フェスティバル（米国）などに出演。彼女の作品は世界各
地で演奏され、高い評価を受けている。これまでにラルペッジャ
ータ、イル・ポモ・ドーロ、ヴァン・ディーメンズ・バンド、オ
ーストラリアン・ブランデンブルク管弦楽団などで客演首席奏者
を務める。

アンソニー・アルブレヒト（チェロ）

クラシック音楽を現代社会により身近で意義あるものとして届け
ることに情熱を注ぐ、高い評価を得ているチェリスト。ジュリア
ード音楽院で音楽修士号と経営学修士号を取得後、保全生物学の
博士号を取得。古楽器・現代楽器の両分野で国際的に活躍し、イ
ル・ポモ・ドーロ、ラッカス（米国）、ピンチガット・オペラ、
オーストラリアン・ハイドン・アンサンブルなど世界的なアンサ
ンブルで首席奏者を務める。演奏活動に加え、社会正義や環境保
全、持続可能性をテーマとする国際的なプロジェクトを手がける
プロデューサーとしても高い評価を得ている。